

第1日目 2022年9月3日（土）

午後の部 14：00～16：00

開催校企画テーマセッション

女性の再就職には何が必要か

オーガナイザー：永井暁子(日本女子大学)

司会・コメンテーター：坂本清恵(日本女子大学)

**【企画趣旨】**

本テーマセッションは、開催校企画として今年度の日本家族社会学会大会開催会場である日本女子大学のメンバーを中心に、女性が抱える諸問題の中から再就職に焦点をあてて企画した。

現代の日本において女性の年齢別労働力率は、M字型のままであり、近年、M字の底が上がってきたのは、主に婚姻率の低下や出生率の低下によるもので、有配偶女性、とくに出産後の女性の就業が増加した影響であるとはいいがたい。つまり、継続して就業し続ける女性の割合はまだまだ低いままであり、再就職は多くの女性が経験するライフイベントである。

女性のライフコースにおいては、結婚や出産によりいったん労働市場から退出することが多く、離職期間は長期に及ぶ者も多い。長期の離職は再就職を困難にし、前職とは全く異なる条件、職位で働くことは周知のとおりである。このセッションでは、既婚女性の再就職行動とその難しさ、とくに非正規雇用がこのコロナ禍において女性をより困難な状況に陥らせている点に着目する。また、女性の新しい働き方としてのNPOでの就労に関する研究から女性が働くための諸条件について検討する。最後に、国、自治体、大学をはじめとした教育機関が行っている再就職のための支援の現状と課題について議論する。